

# 私の博物誌

題字 石川進

## 第三十四回 「熱い風・邂逅」

大震災から二年余り過ぎた二〇一三年の初夏、いわきの復興を支援するため、沖縄県那覇市で立ち上がった那覇市協働大使「シーサープロジェクト」のメンバーの中から、お二人の方々がいわきを訪問された。大浅田均さんと上原仙子さんだ。

袋中上人は当地、いわき出身の高僧である。常磐湯本の能満寺などで修行を積み、平の菩提院の住職を経た後、明への学究の旅に上るが果たせず、漂着した沖縄に念仏踊りを伝えたという。

この念仏踊りが、エイサーやじゃんがらなどと深い関係があるのだと伝えられている。お二人の旅は、これらの調査の旅だったというのだ。泊まりは湯本温泉。夜の散策で立ち寄った居酒屋「スナックさくら」さんに、客として居られた渡辺顕医師によって、沖縄に詳しい友人のはたの眼科・葉田野院長ご夫妻が電話で招じられる。沖縄在住十余年の経験を持たれるご夫妻



イオン那覇店、特設会場での参会者全員の集合写真

した。三、四十分の予定ですと申しあげ、沖縄での体験や、見聞されたことを教えて戴いた。約束を破って三時間余りお邪魔をしてしまいながら、ご夫妻で育てられた珍しい植物や、窪地に生活する赤足亀、黄足亀は、葉田野さんの名を呼ぶ声に近付いて、手から桑の葉を食べる様子などに、私は時の過

ご夫妻、実動された眞佳さんの強靱な心と行動力、手厚いサポートを下さった清水敏男市長やいわき市役所の方々、これらのサポートなしには熱い風はどうなったのか、私にはわからない。巨大なサポートは「いわき・なはアート交流展」や、七月二十七日の子供じゃんがら、エイサー、旗頭、獅子舞などの一大行事として開花する。惜しめない援助と会場の提供を下さったイオン那覇店の皆様方にも、心から深い感謝の意を表したい。

二〇一五年七月一日、「那覇市協働大使」として眞佳さんは推挙を受け、就任された。同道した私にとっても極めて嬉しく、誇らしいことでもある。二つの県の民人は、落とし穴にはまり、身動きができない心境で過ごしてきたのだ。凍り付いた人々の心に、暖かな風穴を空けた新垣さん父子と、城間幹子市長をはじめ、沖縄の大勢の善意の方々、いわき市の先頭を走り、沢山の人の心を動かした葉田野院長ご夫妻、実動された眞佳さんの強靱な心と行動力、手厚いサポートを下さった清水敏男市長やいわき市役所の方々、これらのサポートなしには熱い風はどうなったのか、私にはわからない。

考えさせられるのは、自らが傷つき、重い荷の基地問題を背負いながらもなお、いわき市への声援をのりながらたさである。東日本大震災と津波に加えて、東京電力の原子力発電のメルトダウンの現実。そして沖縄の基地問題。二つの県の住民には危険という刃が同時平行の形で付いて回る。

ぎるのを忘れていた。



書いている人

石川進

いしかわ・すすむ

一九四二年、いわき市平生生まれ。石川紋店代表。家業のかたわら、幼少から書に親しむ。書の世界で培った点・線・面と墨・紙・水の生理を追求し、石刻による印とのコラボによる抽象、具象の絵画表現を展開。書道史学会会員、書法探求顧問

内科・放射線科・心療内科・消化器科

### 本町通りクリニック

院長 園部 清隆(内科・放射線科・消化器科)  
副院長 園部 夏実(心療内科・内科)

■診療時間/月・火・水・木・金・土  
AM9:00~PM1:00 PM3:00~PM7:00  
(ただし土曜日は午後5時まで)  
■休診日/日曜日・祝日・第1、3月曜日

いわき市平字四町目7番地  
☎0246-24-7830【予約診療も可】

医療法人 済 精 会

精神科・内科

### 長 橋 病 院

いわき市内郷御殿町4丁目100  
☎26-3526(代)

医療法人 博 玲 会

### はたの眼科

院長 葉田野 孝

診療時間

- 月・水・金曜日…午前8時30分～正午
- 火曜日午後…手術のみ(診察なし)
- 土曜日…午前8時30分～正午
- 木曜日全日…手術のみ(診察なし)
- 休診日…日曜日・祝日

いわき市常磐開船町上関111 ☎42-2040

社団医療法人 容 雅 会

### 中村病院

Nakamura Hospital

いわき市小名浜大原字下小滝146-2  
TEL.0246-53-3141